

行動の進化・発達・現実発生

keywords : 知覚の構え・錯覚・順応／残効、育児の構え、行動誌

研究概要

人間とは何か、生きるとはどういうことか。心とは何か、それを科学するとはどういうことか。そんなことを考えながら心理学を始めました。そして、行動の準備状態としての「構え」という概念を軸に研究を進めています。

まず学生の時から、実験室の中で知覚の順応と残効や錯覚等の現象をとらえながら、知覚の構えと現実発生という理論の検討を行ってきました。

また、様々な子どもや動物との関わりから行動の発達や進化を捉えて、育児の構えをテーマに心理学的、生物学的、社会・文化的な考察を行っています。

それから、行動を学際的・総合的にとらえる試みとして、「行動誌」というアプローチを提案しています。

心理学の方法論、科学の歴史・哲学・社会学等にも関心を寄せています。

心理系専攻

《 行動発達学研究室 》



なかたに かつや

中谷 勝哉

教授 (博士：人間科学)

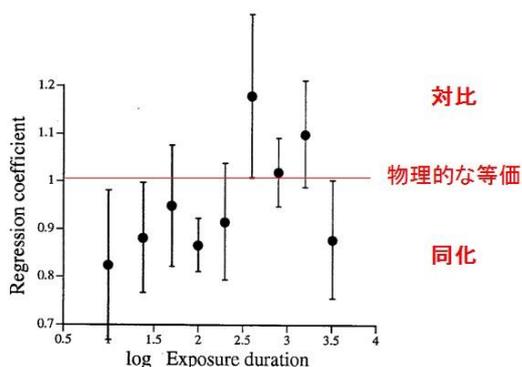
nakatani@socio.kindai.ac.jp

研究テーマ

1. 知覚の構え：錯覚、順応/残効、現実発生

もの見え方は人によっても違いますし、同じ人でも刻一刻と変化します。

例えば長さの異なる 2 本の線分を繰り返し何度も見ていると長さの差が少なく見えてきます。これが順応です。その後で同じ長さの 2 本を見ると、長さが異なって見えます。これが残効です。このような現象を構えとその現実発生という枠組みから検討しています。



2. 育児の構え：発達

多くの動物は誰から教わらなくても子育てをしますが、人間には適切な経験が必要です。どのような場合にどのような経験が適切なのでしょう？ 赤ちゃんはかわいいですが、泣いているとやっかいです。しかし泣いているときにこそ親は一生懸命に構うのはなぜでしょうか？

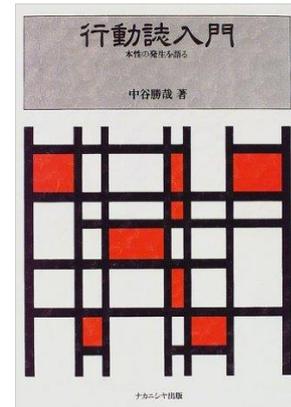
このような問題に、人や動物を対象にした実験や調査をしながら取り組んでいます。



3. 行動誌：学際と総合

行動や心がどのようにして成り立っているかは心理学の力だけでは解りません。人間科学というもっと大きな枠組みから、生き物の構造と機能、生態や進化、社会や制度、文明や文化といった問題も並行して考えてゆく必要があります。

こうした問題に対して、行動を現実発生、発達、進化という発生の枠組みから学際的・総合的にとらえる「行動誌」を提唱しています



主な著書、論文

中谷勝哉 子育ての理由 -かわいい赤ちゃん／面倒な赤ちゃん 丸善プラネット 2012.

中谷勝哉 行動誌入門 ナカニシヤ出版 1997.

中谷勝哉 動物の子育てから教わること I — 動物の子育てはどこまで本能か — 近畿大学総合社会学部 紀要, 第1巻, 第2号, 69-92. 2012.

中谷勝哉 動物の子育てから教わること II — 繁殖の進化と遺伝的プログラムの役割 — 近畿大学総合社会学部紀要 第2巻 第1号 47-71. 2012.

Nakatani, K. Magnitude estimation in the method of limits. In; S. Mori et.al. (eds.) *Fechner Day 2007. Proceedings of the 23rd Annual Meeting of the International Society for Psychophysics*. The International Society for Psychophysics. 407-410. 2007

Nakatani, K. Time error in repeated trials and a new aftereffect. In; D.E. Korbrot et.al. (eds.) *Fechner Day 2006. Proceedings of the 22nd Annual Meeting of the International Society for Psychophysics*. Hertfordshire University Press. 233-238. 2006.

中谷勝哉・山本クニ子 育児関連ストレスと妊娠前の母親の経験・知識 発達研究, 19, 53-67. 2005.

中谷勝哉 行動誌における総合の構想 近畿大学教養部研究紀要, 第31巻, 第3号, 17-33. 2000.

Nakatani, K. Microgenesis of the length perception of paired lines. *Psychological Research*, 58, 75-82. 1995.

Nakatani, K. Fixed set in the perception of size in relation to lightness. *Perceptual and Motor Skills*, 68, 415-422. 1989.

Nakatani, K. Application of the method of fixed set to the size weight illusion. *Psychological Research*, 47, 223-233. 1985.

趣味等

山歩き： 体育会ワンダーフォーゲル部の部長をしています。ワンダーフォーゲルとは「渡り鳥」。

芸能鑑賞： 落語、文楽といった古典芸能からリリパットアーミーまで。

ゼミへの招待

赤ちゃんに興味のある人、動物の好きな人、知覚に関心のある人、心や行動や人間や世界とは何かを考えたい人、ロマンチストの人、ほか誰でも歓迎します。